

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
専門学校 穴吹デザインカレッジ		平成4年3月24日		後藤 良二		〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266																							
分野	認定課程名	認定学科名			専任士	高度専任士																							
工業	工業専門課程	トータルインテリア学科			平成17年文部科学省告示第3号	—																							
学科の目的	快適な住まい、空間をデザインするインテリア・ビジネスのスペシャリストとしての、基礎知識・技術を習得し、インテリアコーディネーター、ディスプレイデザイナー、家具デザイナー等、業界の第一線で活躍できる人材を育成する																												
認定年月日	平成26年3月31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	1756時間	528時間	1228時間	0	0	0 時間																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
50人	50人	2人	4人	9人	13人																								
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスによる																								
長期休み	■学年始:学則に従う ■夏季:〃 ■冬季:〃 ■学年末:〃			卒業・進級条件	履修科目の成績がC以上であること 成績はA～Dの4段階評価でA,B,Cが合格、Dが不合格																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 必要に応じ、学生とガイダンス及び補講等を実施する			課外活動	■課外活動の種類 近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 建築施工会社 インテリアショップ ■就職指導内容 学生との個人面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う ■卒業生数 24 人 ■就職希望者数 24 人 ■就職者数 24 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和 元 年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>インテリア設計士資格検定試験 2級</td> <td>③</td> <td>21人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	色彩検定	③	22人	9人	インテリア設計士資格検定試験 2級	③	21人	20人								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																										
色彩検定	③	22人	9人																										
インテリア設計士資格検定試験 2級	③	21人	20人																										
中途退学の現状	■中途退学者 0名 ■中退率 0% 令和2年4月1日時点において、在学者48名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者48名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 問題発見のためのアンケート実施と学生本人・保護者を交えたがんだンス実施																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 穴吹カレッジ特待生制度、AO入学 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																												
当該学科のホームページURL	URL・http://www.anabuki-college.net/adk/																												

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。

①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ポスターデザイン、Webデザイン等のグラフィックデザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につける。その過程で身につけた知識や技術を企業等から依頼があった作品制作に対し評価を頂き、社会に出て通用する人材を養成することを目的とする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。デザイン業界や企業等に依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善検討を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案を編成しそれを校長が決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和310月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 賢治	香川県設計事務所協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
織野 浩司	あなぶきホーム株式会社 建設総括部 部長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
森内 周公	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 所長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
前田 政裕	株式会社ウィザード 代表取締役社長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
的井 博嗣	株式会社講談社 ヤングマガジン編集部	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (10月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月20日

第2回 令和4年3月11日

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

インターンシップ実施の提言を踏まえて、希望者にインターンシップを実施

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生が授業で身につけた知識や技術を活かし、企業等からの依頼のあったポスターなどの作品制作を連携科目の授業で行う。授業の前に、企業担当者が依頼作品についてのプレゼンテーションを行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。

作品について企業等から講評・評価を頂くことで、学生の作品制作技術力アップと作品制作時のスケジュール管理など、プロのデザイナーとして必要なスキルを身につける。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等

スペースデザイン演習	グループ制作で実在の空間のプラン、制作、運営を行い技術の向上を目指す。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
ディスプレイ演習	ディスプレイの基礎知識を学び、実際に校内外に制作することによって技術力、プラン力の向上を図る。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
コンペ演習	建築、インテリア、プロダクトなどのコンペティションに挑戦し、完成とスキルを向上する。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所
総合デザイン	他学科他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	株式会社ジェイ・エス・ビー・ネットワーク、丸亀商工会議所

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

森ゼミ教員研修

- ・日程: 令和3年3月18日(木)～19日(金)
- ・主催: 穴吹教育総合研究所
- ・内容: 4月からの社会人基礎講座での教員指導書の説明
- ・講師: 森 吉弘

② 指導力の修得・向上のための研修等

「指導のためのLGBTとTの基礎と対応」研修

- ・日程: 令和3年3月22日(金)
- ・主催: 香川県専修学校各種学校連合会
- ・内容: 「LGBTとは」、「LGBTを取り巻く環境」、「LGBTの事例」、「学校教育でのLGBT」
- ・講師: 中村 アンリ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

インテリア設計士に関する研修を実施予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

「主体的・対話的で深い学び」を実現する Google 式10X授業デザイン研修

- ・日程: 令和3年8月19日(木)
- ・内容: Google Classroom を使用した模擬授業・体験型のオンラインセミナー
- ・主催: 一般社団法人全国専門学校教育研究会
- ・担当講師: Google 認定トレーナー/イーサーエル株式会社代表取締役 平塚知真子

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることにより人材の育成に努める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育人人材像が定められているか、等
(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等

(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実が図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 賢治	香川県設計事務所協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界団体委員
織野 浩司	あなぶきホーム株式会社 建設総括部 部長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森内 周公	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 所長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
前田 政裕	株式会社ウィザード	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
的井 博嗣	株式会社講談社 ヤングマガジン編集部	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	元高校関係委員
松下 由美		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者代表委員
田村 享昭		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生代表委員
塩崎 潤	香川県立高松工芸高等学校 校長	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員
岩崎 浩明	川県立善通寺第一高等学校 校長	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/adk/>

公表時期:令和3年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/adk/>

授業科目等の概要

(工業専門課程トータルインテリア学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			I C基礎 I	インテリアの歴史について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	1 通	48		○			○			○	
○			I C基礎 II	設計に必要なインテリア計画、人間工学を習得する。インテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	1 通	48		○			○			○	
○			I C基礎 III	インテリアを構成するエレメントについて学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。	1 後	24		○			○			○	
○			色彩計画	色彩の基礎を学ぶことにより、設計等に活かす。また色彩検定合格を目指す。	1 通	48		○			○			○	
○			パース演習	一点、二点透視図の作図方法を学ぶ。また色鉛筆やマーカーでの着色方法を身に付けプレゼン力を向上させる。【2級建築士指定科目】	1 通	72		○			○			○	
○			I C基礎演習 I	インテリア設計士学科合格に必要な知識を習得する。	1 前	48		○			○			○	
○			I C基礎演習 II	インテリア設計士実技合格に必要な知識、技術を身に付け作図できるようになる。	1 前	24		○			○			○	
	○		造形演習	ディスプレイの基礎知識を学び、制作を通して立体表現の技術を身に付ける。	1 通	96		○			○			○	
		○	建築基礎演習	様々な方法を通して空間把握能力や有名建築の空間を通して空間構成力を養う。	1 通	96		○			○			○	
○			MAC演習	パソコンの基礎技術を習得し、イラストレーター、フォトショップを使い、作画や画像の処理を習得し、プレゼン力の向上を目指す。	1 通	48		○			○			○	
○			プランニング演習	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通す総合的科目。 【2級建築士指定科目】	1 通	120		○			○			○	○
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(工業専門課程トータルインテリア学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			インテリア製 図	平行定規を使い、製図の基礎、建築記号、ペン入れ等を学びインテリア設計士実技課題やインテリアコーディネーター2次試験に対応する。【2級建築士指定科目】	1 前	24		○			○			○	
○			モデリング	スチレンボード等の模型材料を使い、模型製作の基礎を学び、自分のプランを模型にする。【2級建築士指定科目】	1 前	24		○			○			○	
○			CAD演習	JWCADを使いこなし、2次元の図面の作成が行えるようになる。【2級建築士指定科目】	1 後	48		○			○			○	
○			Office 演習	Excel, Word, PowerPointを習得し、見積、ビジネス文章、プレゼン資料等が作成できるようになる。	1 後	24		○			○			○	
○			スペースデザ イン演習 I	グループ制作で実在の空間のプラン、制作、運営を行い技術の向上を目指す。	1 後	24		○			○			○	○
○			総合デザイン I	他学科他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	1 前	24		○			○			○	○
○			総合デザイン II	他学科他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	1 後	24		○			○			○	○
○			社会人基礎講 座 I	卒業後に社会人として活動するためのコミュニケーション力やマナーを学ぶ。言葉で理解するだけでなく口、実践を通して能力を向上させる。	1 前	24		○			○			○	
○			社会人基礎講 座 II	就職活動に向けての基本的な準備を行う。目標を設定し企業に合わせた履歴書の作成や自己PRが行える。	1 後	24		○			○			○	
○			作品展示計画 I	コミュニケーション力向上のための、プレゼンテーションやデザイン展を見据えた自身の作品展示方法について企画・実施する。	1 後	62		○			○			○	
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(工業専門課程トータルインテリア学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
合計															
			21科目			878単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(工業専門課程トータルインテリア学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			I C販売	商品販売の基礎知識、企画書、販売促進ツールの制作を習得する。	2前	24		○			○			○	
○			コンペ演習	建築、インテリア、プロダクトなどのコンペティションに挑戦し、完成とスキルを向上する。	2通	72		○			○			○	○
○			3DCG演習	VectorWorksを使って設計図の3次元化の技術を身に付け、プレゼン力の向上につなげる。 【2級建築士指定科目】	2通	96		○			○				○
○			スペースデザイン演習Ⅱ	グループ制作で実在の空間のプラン、制作、運営を行い技術の向上を目指す。	2後	48		○			○				○
	○		I C概論Ⅰ	環境工学、設備について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	2通	48		○			○				○
	○		I C施工	建築の施工方法について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	2後	24		○			○				○
	○		I C構造	建築の構造について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	2通	48		○			○				○
	○		I C材料	建築の構成材料、内装材料等について学び、インテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	2通	48		○			○				○
	○		インテリア設計	コンセプトワーク、プラン、作図、プレゼンボード、模型、プレゼンと一連の作業を通ず総合的科目。 【2級建築士指定科目】	2通	144		○			○				○
	○		コーディネート演習	商店街への提案など実務に役立つ案件の設定での演習を行う。	2前	48		○			○				○
	○		S P演習	建築・インテリア設計のプロセスを理解し、数多くのパターンを演習することによって技術の向上を図る。【2級建築士指定科目】	2通	96		○			○				○
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(工業専門課程トータルインテリア学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		I C法規	建築法規を学習し、理解する。またインテリアコーディネーター合格を目指す。 【2級建築士指定科目】	2前	24		○			○			○	
	○		家具デザイン概論	家具の特性や材料の種類、特性また道具の種類、特性を学習し、制作に役立てる。	2通	48		○			○			○	
	○		家具デザイン演習	課題によってコンセプトワーク、プラン、制作と家具の制作を通して学ぶ。	2通	120			○		○		○	○	
	○		ディスプレイ演習	ディスプレイの基礎知識を学び、実際に校内外に制作することによって技術力、プラン力の向上を図る。	2通	96			○		○			○	○
	○		立体制作演習	グループで立体物を制作することにより技術力及びチームワークの大切さを学ぶ。	2後	48			○		○			○	
	○		造形技術概論	様々な素材の特性を知り、豊かな発想でそれらを使い制作ができる。	2通	48		○			○			○	
	○		造形技術演習	造形技術概論で学んだ素材を使い、立体物を表現することができる	2前	48			○		○			○	
	○		家具技能演習	手加工による家具製作の基本を学び、【技能検定】家具製作(家具手加工作業)3級合格(国家検定)を目指す。	2通	72			○		○			○	
	○		建築概論	木造詳細図、伏図など木造在来工法の実施図面が書けるようになる。	2前	48		○			○		○		
○			総合デザインⅢ	他学科他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	2前	24			○		○		○		○
○			総合デザインⅣ	他学科他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	2後	24			○		○		○		○
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(工業専門課程トータルインテリア学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			社会人基礎講座Ⅲ	早期内定獲得の為の就職活動対策	2前	24		○			○		○		
○			社会人基礎講座Ⅳ	社会人としてのマナーや知識の習得	2後	24		○			○		○		
○			作品展示計画Ⅱ	コミュニケーション力向上のための、プレゼンテーションやデザイン展を見据えた自身の作品展示方法について企画・実施する。	2後	62		○			○		○		
合計						25科目	878単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																										
専門学校 穴吹デザインカレッジ		平成4年3月24日		後藤 良二		〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																										
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																										
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日		穴吹 忠嗣		〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266																										
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																								
文化・教養		文化教養専門課程		グラフィックデザイン学科		平成15年文部科学省告示第3号		—																								
学科の目的		デザインツールによる実習を通して、デザイナーとしての基礎的な技術を習得し、豊かな想像力と確かな表現力を身につけたスペシャリストを育成する。																														
認定年月日		平成26年3月31日																														
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																				
2年		1756時間		264時間		1492時間		0		0		0																				
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数		時間																				
50人		36人		0人		4人		14人		18人																						
学期制度		■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスによる																								
長期休み		■学年始:学則に従う ■夏季: " ■冬季: " ■学年末: "				卒業・進級条件		履修科目の成績がC以上であること 成績はA～Dの4段階評価でA,B,Cが合格、Dが不合格																								
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 必要に応じ、学生とガイダンス及び補講等を実施する				課外活動		■課外活動の種類 近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																								
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 印刷業界、デザイン事務所 ■就職指導内容 学生との個人面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う ■卒業生数 : 20 人 ■就職希望者数 : 18 人 ■就職者数 : 18 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和2年度卒業生に関する 令和3年5月1日時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力検定試験</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	色彩検定	③	15人	15人	Illustratorクリエイター能力検定試験	③	20人	18人								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																													
色彩検定	③	15人	15人																													
Illustratorクリエイター能力検定試験	③	20人	18人																													
中途退学の現状		■中途退学者 0名 令和2年4月1日時点において、在学者36名(令和元年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者36名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由				■中退率 0%																										
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 穴吹カレッジ特待生制度、AO入学 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL		URL・http://www.anabuki-college.net/adk/																														

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ポスターデザイン、Webデザイン等のグラフィックデザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につける。その過程で身につけた知識や技術を企業等から依頼があった作品制作に対し評価を頂き、社会に出て通用する人材を養成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。デザイン業界や企業等に依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善検討を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案を編成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 賢治	香川県設計事務所協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
織野 浩司	あなぶきホーム株式会社 建設総括部 部長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
森内 周公	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 所長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
前田 政裕	株式会社ウィザード 代表取締役社長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
的井 博嗣	株式会社講談社 ヤングマガジン編集部	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月20日

第2回 令和4年3月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

インターンシップ実施の提言を踏まえて、希望者にインターンシップを実施

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生が授業で身につけた知識や技術を活かし、企業等からの依頼のあったポスターなどの作品制作を連携科目の授業で行う。授業の前に、企業担当者が依頼作品についてのプレゼンテーションを行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。

作品について企業等から講評・評価を頂くことで、学生の作品制作技術力アップと作品制作時のスケジュール管理など、プロのデザイナーとして必要なスキルを身につける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン実務演習Ⅰ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図にあった作品を期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することでクライアントの意図に沿った作品とな何かを考える。	丸亀商工会議所、一般社団法人香川宅建、(株)パパベル、(株)レガン、(株)ルーヴ、丸亀市総務部人権課男女共同参画室

デザイン実務演習Ⅱ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図にあった作品を期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することでクライアントの意図に沿った作品とな何かを考える。	丸亀商工会議所、一般社団法人香川宅建、(株)パパベル、(株)レガン、(株)ルーヴ、丸亀市総務部人権課男女共同参画室
デザイン実務演習Ⅲ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図にあった作品を期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することでクライアントの意図に沿った作品とな何かを考える。	丸亀商工会議所、社会福法人香川県社会福祉協議会、(株)パパベル、(株)ルーヴ、(公財)丸亀市体育協会、丸亀市総務部人権課男女共同参画室
デザイン実務演習Ⅳ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図にあった作品を期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することでクライアントの意図に沿った作品とな何かを考える。	丸亀商工会議所、社会福法人香川県社会福祉協議会、(株)パパベル、(株)ルーヴ、(公財)丸亀市体育協会、丸亀市総務部人権課男女共同参画室

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

Adobeオンラインセミナー:Photoshopのデザインキャンプが動き出す！～プロトタイピング基礎編～

- ・日時: 令和2年7月9日(木)
- ・内容: Webデザインにおいて、Adobe XDでできる基本的なプロトタイピングやその確認方法、既存のPsデータやAiデータの活用法
- ・講師: 北村崇

② 指導力の修得・向上のための研修等

ルーブリック研修

- ・日時: 令和2年8月19日(水)
- ・内容: ルーブリック評価についての基礎知識、評価方法
- ・講師: 村上悦雄

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

Adobeオンラインセミナー:Illustratorで「ポスターデザイン」。目をひく表現方法、「考えかたと手順」を教えます！<前編><後編>

- ・日時: 令和3年6月9日(水)、23日(水)
- ・内容: ポスターデザインの「考えかたと手順」 Illustratorでの「目をひく表現、フォント・色の選択、写真のトリミング」
- ・講師: 永井弘人

② 指導力の修得・向上のための研修等

「主体的・対話的で深い学び」を実現するGoogle 式10X授業デザイン研修

- ・日時: 令和3年8月19日(木)
- ・内容: Google Classroom を使用した模擬授業・体験型のオンラインセミナー
- ・講師: 平塚知真子

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることでよい人材の育成に努める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等

(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実が図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 賢治	香川県設計事務所協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界団体委員
織野 浩司	あなぶきホーム株式会社 建設総括部 部長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森内 周公	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
前田 政裕	株式会社ウィザード	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
的井 博嗣	株式会社講談社 ヤングマガジン編集部	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	元高校関係委員
松下 由美		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者代表委員
田村 享昭		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生代表委員
塩崎 潤	香川県立高松工芸高等学校 校長	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員
岩崎 浩明	香川県立善通寺第一高等学校 校長	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/adk/>
公表時期:令和3年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業生数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/adk/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Illustrator 基礎	グラフィックデザインにおけるIllustratorの機能と基本的な操作を学ぶ	1 前	48		○			○				
○			Photoshop基 礎 I	グラフィックデザインにおけるPhotoshopの基礎を実習を通して学ぶ	1 前	24		○			○				
○			Photoshop基 礎 II	グラフィックデザインにおけるPhotoshopの基礎を実習を通して学ぶ	1 後	24		○			○				
○			DTP基礎	DTP（デスクトップパブリッシング）について見聞を広げ、基礎知識を学ぶ	1 前	24		○			○				
○			DTP実践	DTPの仕組みについて学び、正しい情報の整理を行えることを目的とし展開する	1 後	48		○			○				
○			Indesign演習	Adobe InDesignの基本操作及びページ物の基礎を作品制作を通して学ぶ	1 後	24		○			○				
○			グラフィック 基礎 I	グラフィックデザインの役割や、グラフィック表現における構成要素を理解し、コンセプト立案から作品制作、プレゼンテーションまでを経験する	1 前	48		○			○				
○			グラフィック 基礎 II	グラフィックデザインの役割や、グラフィック表現における構成要素を理解し、コンセプト立案から作品制作、プレゼンテーションまでを経験する	1 後	48		○			○				
○			ベーシックデ ザイン	講義及び課題制作を通して、平面造形の基礎的な知識と技能を習得する。	1 前	48		○			○				
○			Webデザイ ン基礎 I	WebサイトとWebデザインについての知識を学び、Webデザイナー検定合格を目指す	1 前	24		○			○				
○			Webデザイ ン基礎 II	Webデザインについてより実践的な知識を得る	1 後	24		○			○				
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Webコーディング基礎Ⅰ	HTMLとCSSの基本を学習する	1前	24		○			○			○	
○			Webコーディング基礎Ⅱ	HTMLとCSSの基本を学習する	1後	24		○			○			○	
○			色彩計画Ⅰ	グラフィックデザイナーとして効果的なカラーコーディネーションを行うために、まず色の性質を知り、配色の基本を学ぶ。また、検定対策を行い色彩検定3級の取得を目指す。(希望者は2級習得も目指す)	1前	24		○			○			○	
○			色彩計画Ⅱ	グラフィックデザイナーとして効果的なカラーコーディネーションを行うために、まず色の性質を知り、配色の基本を学ぶ。また、検定対策を行い色彩検定3級の取得を目指す。(希望者は2級習得も目指す)	1後	24		○			○			○	
○			アイデア発想法	脳のメカニズムを知る事で効率よくアイデア発想を行えるポイントを理解し、日々のトレーニングを続けて右脳を活性化する。	1前	24		○			○			○	
○			グラフィックデザイン概論	グラフィックデザインが持つ社会的役割を理解し、企画に必要なアイデアや様々なビジュアル要素への理解を深める。	1前	24		○			○			○	
○			デザイン実務演習Ⅰ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図に合った作品を。期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することによってクライアントの意思にそった作品とは何かを考える。	1前	24		○			○			○	
○			デザイン実務演習Ⅱ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図に合った作品を。期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することによってクライアントの意思にそった作品とは何かを考える。	1後	24		○			○			○	
○			社会人基礎講座Ⅰ	卒業後に社会人として活動するためのコミュニケーション力やマナーを学ぶ。言葉で理解するだけでなく、実践を通して能力を向上させる。	1前	24		○			○			○	
○			社会人基礎講座Ⅱ	就職活動に向けての基本的な準備を行う。目標を設定し企業に合わせた履歴書の作成や自己PRが行える。	1後	24		○			○			○	
○			コピー概論	多くのCM作品などを見ることで、クリエイティブすることに興味を持ち、言葉の楽しさと奥深さ、広がり、大切さを理解する。	1前	24		○			○			○	
					※次のページへ続く										

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			DTV演習	映像作品を制作する上で必要な絵コンテの作成や映像加工ソフト「Adobe Aftereffects」の操作など、基本的技術を習得する。	1 後	24		○			○				
○			プランニング概論	現在の市場、生活者の動向などマーケットの概要を学び、企画に役立つ情報や知識、理論を理解する。また、著名なクリエイター、マーケッター別に、課題へのアプローチの方法とプレゼン思考を養う。	1 後	24		○			○			○	
○			修了制作	2月に実施される作品展示会「デザイン展」に向けてポスターを基本とした作品を制作する。テーマに対し、企画・コンセプトを十分に練った上で制作、プレゼンを実施する。	1 後	48			○		○		○		
○			カメラワーク演習	デジタル一眼レフカメラの基本的な使い方、商用を前提とした照明などの機材を用いた効果的な撮影方法を学習する。	1 後	24			○		○			○	
○			総合デザインⅠ	他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	1 前	24			○		○		○		
○			総合デザインⅡ	他学年の学生と総合的なデザインの企画及び制作を通してコミュニケーション能力とプレゼン力を身につける。	1 後	24			○		○		○		
○			作品展示計画Ⅰ	コミュニケーション力向上のための、プレゼンテーションやデザイン展を見据えた自身の作品展示方法について企画・実施する。	1 後	62			○		○		○		
合計			29科目		878単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会人基礎講座Ⅲ	就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。動画で要点を学び、宿題を通じて問題や課題を発見し、授業で解決していく。	2前	24		○			○				
○			社会人基礎講座Ⅳ	実践を通してコミュニケーション能力を上げるとともに、就職活動の進め方を確認し、個人ガイダンスを実施する	2後	24		○			○				
○			G D 演習	デザイナーとして必要な、クライアント要求に自分のオリジナリティを持って最適なアイデア、ビジュアルソリューション提案を体験する。JAGDA国際学生ポスターアワード・二科展デザイン部で入賞・入選を目指す。	2前	48			○		○			○	○
○			C I 演習	市場背景を考えながらビジュアル作成をする。企業の情報を調査して、市場におけるコンセプトを構築し、デザインに反映させる。	2後	48			○		○			○	
○			アドバタイジング	「広告」の現状に即した、より実践に役立つ企画表現技術を学ぶ	2前	48			○		○			○	○
○			コミュニケーションデザイン	デジタルマーケティングの基礎を理解するとともに、コミュニケーションをデザインする	2後	48			○		○			○	○
○			デザイン実務演習Ⅰ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図に合った作品を、期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することによってクライアントの意思にそった作品とは何かを考える。	2前	24			○		○			○	○
○			デザイン実務演習Ⅱ	十分にリサーチを行い、クライアントの意図に合った作品を、期限厳守で制作することができる。様々なコンペに応募することによってクライアントの意思にそった作品とは何かを考える。	2後	24			○		○			○	○
○			D T P 応用	デザインデータの仕組みと特殊印刷・加工のデータ制作方法を習得するとともにDTP業界でのデータを活用した業務の広がりや展開方法を学ぶ	2前	48			○		○			○	
○			D T P 実務	企画からデザイン及び印刷用の入稿データ制作までの一連のDTPワークフローを学ぶ	2後	48			○		○			○	
○			卒業制作	テーマに対し、企画・コンセプトを十分に練った上で2年間の集大成といえる作品の制作、プレゼンを実施する。デザイン展での発表を行い外部評価を得る。	2後	48			○		○			○	
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			カメラワーク 応用	写真集などを通し多様な写真に触れ、自己表現としての写真について学ぶ	2前	24			○		○				○
○			グッズデザイン 演習Ⅰ	身近にあるモノをより良いモノにデザインし、こんなのがあったらいいなと思うモノを考え、オリジナルグッズやパッケージ、カレンダーなどの商品企画に取り組む。また地域の特産品をブランディングし、トータルデザイン展開の手法を身につける。	2前	48			○		○				
○			グッズデザイン 演習Ⅱ	身近にあるモノをより良いモノにデザインし、こんなのがあったらいいなと思うモノを考え、オリジナルグッズやパッケージ、カレンダーなどの商品企画に取り組む。また地域の特産品をブランディングし、トータルデザイン展開の手法を身につける。	2後	24			○		○				
○			総合デザイン Ⅲ	学年を超えてグループで総合的なデザイン課題に向き合う	2前	24			○		○				
○			総合デザイン Ⅳ	学年を超えてグループで総合的なデザイン課題に向き合う	2後	24			○		○				
	○		イラストレー ションⅠ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学び絵を描く仕事に必要な事を学習する。	2前	48			○		○				○
	○		イラストレー ションⅡ	商業イラストの仕事について理解を深め、求められるイラストおよび考え方、技術を学び絵を描く仕事に必要な事を学習する。	2後	48			○		○				○
	○		グラフィック ワークⅠ	グラフィックデザインで何が出来るか？何がしたいか？を考え実践する	2前	48			○		○				○
	○		グラフィック ワークⅡ	グラフィックデザインで何が出来るか？何がしたいか？を考え実践する	2後	48			○		○				○
	○		絵本制作演習 Ⅰ	絵本制作を通して、伝えたいメッセージを掘り下げ、自分の絵を追求し、自分らしい表現をする。	2前	24			○		○				○
	○		絵本制作演習 Ⅱ	一冊の本を作り上げていく事で、自分の表現する世界をわかりやすく伝えることができる力を身につける。	2後	24			○		○				○
					※次のページへ続く										

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		D T V 応用 I	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身につける グループ制作による個人の役割を知る	2 前	48		○			○				
	○		D T V 応用 II	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身につける グループ制作による個人の役割を知る	2 後	48		○			○				
	○		Web デザイン 応用	HTMLとCSSの基本に加え、より高度なサイト制作技術を習得する	2 前	72		○			○			○	
	○		Web デザイン 実務	Webデザイナー・コーダーとしての実務に役立つ技術を学ぶ	2 後	72		○			○			○	
○			作品展示計画 II	コミュニケーション力向上のための、プレゼンテーションやデザイン展を見据えた自身の作品展示方法について企画・実施する	2 後	62		○			○		○		
合計				27科目				878単位時間()							(単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
専門学校 穴吹デザインカレッジ		平成4年3月24日	後藤 良二		〒760-0020 香川県高松市錦町1-3-5 (電話) 087-823-6600																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人穴吹学園		平成3年4月1日	穴吹 忠嗣		〒760-0020 香川県高松市錦町1-22-23 (電話) 087-823-2266																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
文化・教養	文化教養専門課程	マンガ・コミックイラスト学科			平成20年文部科学省告示第3号	—																					
学科の目的	マンガのストーリー構成、企画、表現を学び、マンガ雑誌に投稿できるまでの知識、技術を身に付けた人材の育成や、様々な画材の基礎的な技術を習得し、表現力豊かなイラスト制作ができる人材を育成する。																										
認定年月日	平成26年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1756時間	144時間	1621時間	0	0	0																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
50人		36人	1人	6人	6人	12人																					
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 シラバスによる																						
長期休み	■学年始:学則に従う ■夏季:〃 ■冬季:〃 ■学年末:〃			卒業・進級条件	履修科目の成績がC以上であること 成績はA～Dの4段階評価でA,B,Cが合格、Dが不合格																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 必要に応じ、学生とガイダンス及び補講等を実施する			課外活動	■課外活動の種類 近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 印刷業界、デザイン事務所			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 学生との個人面談や就職指導などを、就職キャリアセンターと教務部が一体となって行う				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>マンガ能力検定</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	色彩検定	③	17人	17人	マンガ能力検定	③	10人	10人								
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																						
	色彩検定	③	17人		17人																						
マンガ能力検定	③	10人	10人																								
■卒業生数 22 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 68.75 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																								
■その他 ・進学者数: 0人			■自由記述欄																								
(令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)																											
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成31年4月1日時点において、在学者36名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者36名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由			■中退率 0%																							
■中退防止・中退者支援のための取組 問題発見のためのアンケート実施と学生本人・保護者を交えたガイダンス実施																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 穴吹カレッジ特待生制度、AO入学 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	URL・http://www.anabuki-college.net/adk/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ポスターデザイン、Webデザイン等のグラフィックデザイナーとして必要な基本スキルを授業で学び、演習授業で応用力を身につける。その過程で身につけた知識や技術を企業等から依頼があった作品制作に対し評価を頂き、社会に出て通用する人材を養成することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

カリキュラム編成や授業科目の内容・授業方法の充実・改善を目的として「教育課程編成委員会」を設置する。デザイン業界や企業等に依頼した委員からの意見・要望を伺う。学校は「教育課程編成委員会」での意見・要望を十分活かし、かつ教育理念及び学科目標に沿ったカリキュラムの改善検討を教務部が主体となり行い、新たなカリキュラム案を編成しそれを校長が決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 賢治	香川県設計事務所協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	①
織野 浩司	あなぶきホーム株式会社 建設総括部 部長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
森内 周公	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス 所長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
前田 政裕	株式会社ウィザード 代表取締役社長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③
的井 博嗣	株式会社講談社 ヤングマガジン編集部	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月20日

第2回 令和4年3月(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

インターンシップ実施の提言を踏まえて、希望者にインターンシップを実施

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身につけた知識、技術が企業等と連携した取り組みを通して評価し、より一層のスキルアップに繋がるようにする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生が授業で身につけた知識や技術を活かし、企業等からの依頼のあったポスターなどの作品制作を連携科目の授業で行う。授業の前に、企業担当者が依頼作品についてのプレゼンテーションを行う。学習成果の評価については、企業担当者の意見も参考にしながら担当教員が行う。

作品について企業等から講評・評価を頂くことで、学生の作品制作技術力アップと作品制作時のスケジュール管理など、プロのデザイナーとして必要なスキルを身につける。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン実務演習Ⅰ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	一般社団法人香川宅建、丸亀市総務部人権課男女共同参画室

デザイン実務演習Ⅱ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	一般社団法人香川宅建、丸亀市総務部人権課男女共同参画室
デザイン実務演習Ⅲ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	丸亀市総務部人権課男女共同参画室、
デザイン実務演習Ⅳ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意図に沿った作品とは何かを考え、実践できるようになる。	丸亀市総務部人権課男女共同参画室、

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 教員は教職員研修規定に従い、デザイン業界で必要とされる資質、知識、技能について学生が修得できるよう、学内だけでなく、学外の研修等に参加することで自らの知識、技術の幅を広げ、それを教育の現場に反映させていくこととする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

『10代～20代の漫画家志望者が身に付けておくべきストーリーの作り方(基礎編)』

・日時: 令和2年8月26日(水)17:30-18:30(受付開始17:00)

・講師: デジタルハリウッド大学 非常勤講師 田中 裕久

② 指導力の修得・向上のための研修等

ルーブリック研修

・日時: 令和2年8月19日(水)

・内容: ルーブリック評価についての基礎知識、評価方法

・講師: 村上悦雄

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ペンタブレット活用に関する研修を実施予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

LGBT研修

・日時: 令和3年3月22日(金)

・内容: 「LGBTとは」「LGBTを取り巻く環境」「LGBTの事例」「学校教育でのLGBT」オンライン研修

・講師: 中村 アンリ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動の観察や意見交換を通じて、学校運営及び教育活動等の評価を行い、その結果に基づき改善を図ることにより人材の育成に努める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、目的、育成人材像が定められているか、等
(2) 学校運営	教育理念に沿った運営方針が策定されているか、等

(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の明文化、実施ができていないか、等
(4)学修成果	資格取得向上、就職率向上が図られているか、等
(5)学生支援	退学率の低減、就職等進路支援の充実が図られているか、等
(6)教育環境	設備、教育環境は整っているか、防災・安全管理の体制は十分か、等
(7)学生の受入れ募集	学生募集は積極的・効率的に実施されているか。納付金の取り扱いは
(8)財務	財務基盤は安定しているか。財務情報の公開は適切か、等
(9)法令等の遵守	法務順守と適正な運営がなされているか。自己評価を実施し公開して
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を利用し社会貢献・地域貢献ができていないか、
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員からのコメントや意見をもとに、各項目の改善に取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
中村 賢治	香川県設計事務所協会	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	業界団体委員
織野 浩司	あなぶきホーム株式会社 建設総括部 部長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森内 周公	株式会社穴吹カレッジサービス 広告制作部 穴吹デザインプラス	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
前田 政裕	株式会社ウィザード	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
的井 博嗣	株式会社講談社 ヤングマガジン編集部	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
森川 崇		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	元高校関係委員
松下由美		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者代表委員
田村 享昭		令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生代表委員
塩崎 潤	香川県立高松工芸高等学校 校長	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員
岩崎 浩明	川県立善通寺第一高等学校 校長	令和3年10月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/adk/>

公表時期:令和3年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の関係者に学校運営及び教育活動等の理解を深めて頂くため、積極的に情報を公開し説明に取り組む。情報公開のツールとして、ホームページ、学校パンフレット、募集要項等を利用する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画、等
(2)各学科等の教育	定員数、入学、卒業者数、カリキュラム、資格取得の状況、等
(3)教職員	教職員の概要、等
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況、職業支援等への取組状況、等
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動の取組、等
(6)学生の生活支援	学生支援の取組状況、等
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・就学支援(奨学金、授業料免除等の案内)、等
(8)学校の財務	事業報告書、学校関係者評価報告書、等
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価報告書、等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL:<http://www.anabuki-college.net/adk/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ・コミックイラスト学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			イラスト演習Ⅰ	スケッチの基本であるマーカーを使用し、プロポーション・質感表現・陰影法・マーカーテクニックを習得する。	1前	48		○			○		○		
○			イラスト演習Ⅱ	前期に学んだマーカーテクニックを駆使し、修了制作に登場するキャラクターの紹介パネルを制作する。キャラは全身以外に4表情も作成する。	1後	24		○			○		○		
○			デザイン実務演習Ⅰ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意思にそった作品とは何かを考え、実践できるようになる。	1前	24		○			○		○		○
○			デザイン実務演習Ⅱ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意思にそった作品とは何かを考え、実践できるようになる。	1後	24		○			○		○		○
○			DTP演習Ⅰ	デジタル基礎として主にDTP作業に必要なIllustrator及びPhotoshopの基礎知識、技術、さまざまなルールについて、課題の制作を通して習得する。	1前	24		○			○		○		
○			DTP演習Ⅱ	デジタル基礎として主にDTP作業に必要なIllustrator及びPhotoshopの基礎知識、技術、さまざまなルールについて、課題の制作を通して習得する。	1後	48		○			○		○		
○			マンガテクニックⅠ	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方などの基本を理解する。	1前	48		○			○		○		
○			マンガテクニックⅡ	スクリーントーンテクニック、パースの描写などの立体的な背景が描けるようになるために技術を習得する。	1後	48		○			○		○		
○			色彩計画Ⅰ	感覚や好き嫌いだけでなく色彩理論に沿った色使いができる知識を養う。	1前	24		○			○		○		
○			色彩計画Ⅱ	感覚や好き嫌いだけでなく色彩理論に沿った色使いができる知識を養う。	1後	24		○			○		○		
○			ストーリーテクニック	マンガ制作において重要な要素である技術やテクニック、道具の使い方、キャラクター作り、ストーリー作りを学ぶ。	1前	48		○			○		○		
				※次のページへ続く											

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ・コミックイラスト学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			キャラクター 検定演習	キャラクターを描く力、実力を図り、キャラク ター検定（日本漫画能力検定協会主催）の合格を 目指す	1 後	24		○			○				
○			修了制作	デザイン展での発表に向けての作品制作。 テーマに沿ったプロット制作、ラフ案からの制 作。	1 後	48		○			○				
○			CG演習Ⅰ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の 復習、及び応用力を養う。	1 前	48		○			○			○	
○			CG演習Ⅱ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の 復習、及び応用力を養う。	1 後	48		○			○			○	
○			イラストレ ーションⅠ	様々なイラストレーションの実用法を学び、実戦 に役立つ技術を身につける。	1 前	48		○			○			○	
○			イラストレ ーションⅡ	様々なイラストレーションの実用法を学び、実戦 に役立つ技術を身につける。	1 後	48		○			○			○	
○			office演習Ⅰ	Microsoft office specialist Excel2016 取得を目指す	1 前	24		○			○			○	
○			office演習Ⅱ	Microsoft office specialist Excel2016 取得を目指す	1 後	24		○			○			○	
○			デッサン	デッサンをするための基本的な考え方や技術を学 ぶ。	1 前	24		○			○				
○			コミックア ート演習Ⅰ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または 1・2年合同で取り組む	1 前	24		○			○			○	
○			コミックア ート演習Ⅱ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または 1・2年合同で取り組む	1 後	24		○			○			○	
※次のページへ続く															

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ・コミックイラスト学科) 令和3年度生 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会人基礎講座Ⅰ	社会人として必要不可欠なofficeソフトの技術習得およびMOSの取得を目標とする。	1前	24		○			○		○		
○			社会人基礎講座Ⅱ	社会人として必要不可欠なofficeソフトの技術習得およびMOSの取得を目標とする。	1後	24		○			○		○		
○			作品展示計画Ⅰ	コミュニケーション力向上のための、プレゼンテーションやデザイン展を見据えた自身の作品展示方法について企画・実施する。	1後	62			○		○		○		
合計						25科目	878単位時間()							(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ・コミックイラスト学科) 令和3年度生 2年次																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			キャラクターイラスト演習Ⅲ	マンガ、イラストを制作するにあたり、キャラクターの動きの一瞬を捉えた様々なポーズ描写ができるように、反復練習等によりプロポーションが取れたキャラクターの制作技術を身に付ける。	2前	24			○		○					
○			キャラクターイラスト演習Ⅳ	前期に学んだポージングとマーカータクニックを駆使し、卒業制作に登場するキャラクターの紹介パネルを制作する。キャラは全身以外に4表情も作成する。	2後	24			○		○					
○			アニメーション演習Ⅲ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身に付け、グループ制作により個人の役割を知る。	2前	48			○		○					
○			アニメーション演習Ⅳ	デジタル動画作成により絵の視覚的な効果表現方法を身に付け、グループ制作により個人の役割を知る。	2後	24			○		○					
○			Web演習Ⅰ	Web制作に必要な知識全般を習得し、WordPressを利用した自分のサイトを制作する。	2前	48			○		○					
○			Web演習Ⅱ	Web制作に必要な知識全般を習得し、WordPressを利用した自分のサイトを制作する。	2後	24			○		○					
○			にがお絵演習	似顔絵を描く力を練習問題をすることにより、観察力と描写力を身につける。	2後	24			○		○			○		
○			デザインワークⅠ	自分の作品をネットオークション等で販売する。	2前	24			○		○					
○			デザインワークⅡ	産学連携における制作物を企画制作する。	2後	48			○		○				○	
○			デザイン実務演習Ⅲ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意思に沿った作品とは何かを考える力を養う。またプレゼンテーション能力の向上を見に付けさせる。	2前	24			○		○				○	
○			デザイン実務演習Ⅳ	様々なコンペに応募することによってクライアントの意思に沿った作品とは何かを考える力を養う。またプレゼンテーション能力の向上を見に付けさせる。	2後	24			○		○				○	
※次のページへ続く																

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ・コミックイラスト学科) 令和3年度生 2年次																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			DTP演習Ⅲ	1年時に学んだ基礎をもとに、より応用的なDTPの作業を行いながら実践的なデザイン制作を学ぶ。	2前	48		○			○					
○			DTP演習Ⅳ	デザイン作成の具体的な手法を、実際の制作を通して学ぶ。	2後	48		○			○					
	○		マンガテクニクⅢ	投稿作品を完成、雑誌新人賞に応募し入賞を目指す。	2前	48		○			○				○	
	○		マンガテクニクⅣ	投稿作品を完成、雑誌新人賞に応募し入賞を目指すと共に、編集部への持ち込みも行う。	2後	48		○			○				○	
	○		コミックイラスト演習Ⅰ	コミックイラストの制作と発表に求められるアイデアの発想法や、具体的な手段を理解し、テーマ公募や作品展のための作品を制作する。	2前	48		○			○				○	
	○		コミックイラスト演習Ⅱ	コミックイラストの制作と発表に求められるアイデアの発想法や、具体的な手段を理解し、テーマ公募や作品展のための作品を制作する。	2後	48		○			○				○	
	○		イラスト演習Ⅲ	イラストを使った事例を透し、実務に必要なディレクション力を学ぶ。	2前	48		○			○				○	
	○		CG演習Ⅲ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の復習、及び応用力を養い、実際にコンペなどに作品を出しながら実力を付けていく。	2前	48		○			○				○	
	○		CG演習Ⅳ	CG作品を仕上げるために必要なソフトの基礎力の復習、及び応用力を養い、実際にコンペなどに作品を出しながら実力を付けていく。	2後	48		○			○				○	
	○		キャラクターテクニクⅠ	キャラクター作り、ストーリー作りにおける細やかな演出方法を学ぶ	2前	48		○			○				○	
	○		キャラクターテクニクⅡ	卒業制作に向けたマンガ制作に取り組む	2後	48		○			○				○	
※次のページへ続く																

授業科目等の概要

(文化教養専門課程マンガ・コミックイラスト学科) 令和3年度生 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			イラスト演習Ⅳ	イラストを使った事例を透し、実務で必要なディレクション力を学ぶ。	2後	48		○			○			○	
○			コミックアート演習Ⅲ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または1・2年合同で取り組む	2前	24		○			○			○	
○			コミックアート演習Ⅳ	行事イベントにおける作品の制作を共同、または1・2年合同で取り組む	2後	24		○			○			○	
○			コミックテクニックⅠ	マンガ制作におけるコマワリ、アングル（構図）など細部における技術やテクニックを身に着ける	2前	48		○			○			○	
○			コミックテクニックⅡ	マンガ制作におけるコマワリ、アングル（構図）など細部における技術やテクニックを身に着ける	2後	48		○			○			○	
○			社会人基礎講座Ⅲ	早期内定獲得の為の就職活動対策	2前	24		○			○			○	
○			社会人基礎講座Ⅳ	社会人としてのマナーや知識の習得	2後	24		○			○			○	
○			作品展示計画Ⅱ	コミュニケーション力向上のための、プレゼンテーションやデザイン展を見据えた自身の作品展示方法について企画・実施する。	2後	62		○			○			○	
合計						30科目	878単位時間()								(単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。